

発行所

公益社団法人
全日本仏教婦人連盟
〒151-0051 東京都渋谷区
千駄ヶ谷4-5-10-205
TEL 03-5772-0677
FAX 03-6434-0184
URL <http://jbwf.jp>

沙羅の樹

Saranoki

No.16

2022年春号

4月1日発行

コロナ禍の2020年11月より、(公財) 全国青少年教化協議会・(公社) 日本仏教保育協会・(公社) 全日本仏教婦人連盟の仏教三団体は、「子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン」を共に実施してまいりました。

この度2022年春に、三団体のリーダー方にご登壇いただき、子どもたちに持続可能な社会を構築する為の方向性を伺いました。



子どもたちに
豊かな地球を
つなぐキャンペーン

1 (公社)
日本仏教保育協会

理事長 高山久照

仏教的精神をバックボーンとした仏教保育においては、生命尊重の保育を推進しています。私たちのいのちはこの世のすべての存在との関わり合いの中で生まれ、存在しています。すべてのいのちを慈しみ尊ぶ情操を育むことは、ESD(持続可能な開発のための教育)の理念とも通ずるものであり、持続可能な世界・子ども達の豊かな未来を創る事に結びつくものと考えています。

子どもたちに 豊かな地球をつなぐ キャンペーンとは？

仏教三団体が協働し、負の遺産を次世代に残さないために、釈尊が説いた縁起観(相互依存性)に基づき、環境破壊から環境再生・維持へと強い意志を持って実践するものです。社会全体が「少欲知足」を旨とする持続可能な「共生社会」を実現し、豊かな環境を子どもたちにつないで行くことを目指します。

寺院は従来、地域の拠点として社会の問題解決を担ってききましたが、今後は寺院活動をSDGsに関連付けることにより、新たな意義や価値を見出していくことも必要ではないでしょうか。

一昨年より全日本仏教婦人連盟、全国青少年教化協議会と当協会との三団体が協働し「子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン」を実施しています。地球上の「誰一人も取り残されない」誓いのもと、今ある課題に問題意識を持ち、より豊かな未来を築くことをねらいとして取り組んで参りたいと考えています。



植物指導(土作り)



花まつり甘茶かけ

私たちの 活動報告

(各事業にご賛助及び
ご協力をいただき、
ありがとうございます。)

3月25日現在(順不同・敬称略)

▼社会福祉基金にご協力の方々

念法真教 花岡眞理子 河原時子
笹川悦導

▼あおぞら奨学基金にご協力の方々

丸山弘子 佐々木公子 岩脇孝子
吉田視知恵

▼花の種運動にご協力の方々

岩脇孝子 佐々木公子 花岡眞理子
大橋百合子 東本願寺 本多端子
末廣久美 河原時子 總持寺 善照寺

▼写経運動にご協力の方々

【事務局扱い】
村上和之 佐々木公子 岩脇孝子
末廣久美 横山俊子 海老名初江
大橋百合子 柝澤元子 猪瀬三枝子
田中美恵子 野沢喜代恵 大橋聡衣

▼誌代にご協力の方々

丸山弘子 河原時子 海老名初江

今後の予定

コロナウイルス禍状況により、
変更することもございます

第123回 文化講座(Zoom)

絵解き 釈迦涅槃図
講師 岡澤恭子氏
日時 4月11日(月)
14時～15時30分

第10回総会

日時 6月6日(月)
会場 代々木会議室
東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-5-10

第69回大会

真言宗智山派大本山川崎大師
平間寺にて10月末に開催

➡ 順次ご案内をいたします。

1月

1日 「全佛婦」134号発行

17日 子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン
(東京グランドホテル)

19日 第5回運営委員会(ZOOM会議)

2月

7日 「沙羅の樹」編集(ZOOM会議)

21日 常務理事会(ZOOM会議)

・(公財)WCRP 第5回女性部会委員会(オンライン会議)

24日 (公財)国際仏教興隆協会第31回理事会(オンライン会議)

3月

7日～9日 花の種発送作業(代々木会議室)

8日 (公財)全日本仏教尼僧法団元理事長笹川亮宣尼本葬儀
(新宿・観音庵)

10日 第28回理事会(ZOOM会議)

17日 (公財)全日本仏教会第6回支援検討会議(オンライン会議)

22日 内閣府立ち入り検査(事務局)

28日 (公財)全日本仏教会 第9回代議員会議(オンライン会議)

Activity Report

写経運動

令和3年度皆様からお預かりいたしましたお写経は、(公財)国際仏教興隆協会様に委託し、インド日本寺本堂にて現地駐在のご住職様によって法要後に境内にあります宝篋印塔に納めていただきます。ありがとうございました。(未だインドへの入国はできませんが、国際仏教興隆協会様にお届けしてあります)

今年度も引き続き写経運動にご賛同くださいますようお願い申し上げます。

花の種運動

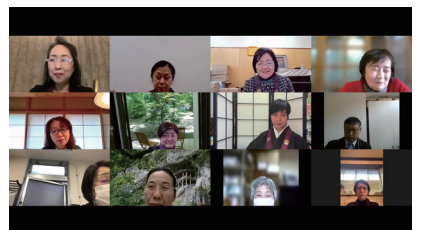
コロナ禍のために諸事情により、今年度はホチキス止めをやめ、30000袋の種をリーフレットと共に、皆さまにお届けいたしました。各々配布していただければ幸いですのでよろしくお願い申し上げます尚、発送作業にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

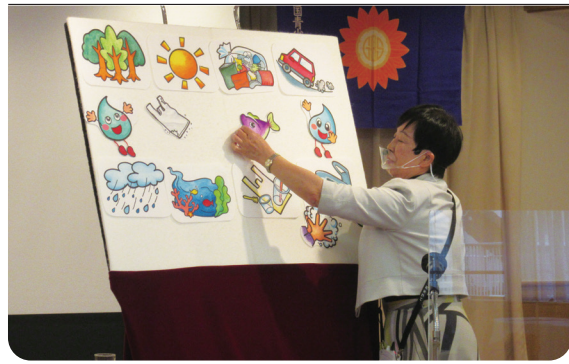
あおぞら
奨学基金

令和3年度は2名の生徒さんが無事卒業され、ご支援に感謝の手紙が届きました。紙面の都合上次号にて掲載いたします。

事務局より

新型コロナウイルス禍により、役員の皆様と対面での会議が出来ない中で、令和3年度は理事会、常務理事会、運営委員会、編集委員会をオンライン会議にて開催いたしました。





パネルシアターを実演する藤田教授

「いのちの共生を 考える ーパネルシアターによる 環境教育」 に参加して

子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーンの一環で、1月17日東京グランドホテルにて開催された、パネルシアター作家である藤田佳子

先生（淑徳大教育学部教授）の「いのちの共生を考えるーパネルシアターによる環境教育」と題した、指導者研修会に参加しました。

まず、パワーポイントにて環境教育、今、地球に起こっていること、SDGsとは、の講義を受け、続いて藤田先生が作成された新作「地球を笑顔に！SDGs」を雨から生まれた「しずくちゃん」が語り部となり、水道水を大切に使うこと、レジ袋を食べる魚を防ぐためにエコバッグを使うなど、環境にやさしい生活の実践をわかりやすく実演されました。パネルシアターは不織布のパネルを舞台に絵や文字を貼り付けて、話やクイズを展開する表現法です。

その後、先生が用意してくださいましたパネル人形を、はさみやボンドを使い実際に作成しグループで実演をしました。大人も子どもも実践している貴重な経験を、何かに生かせればよいかなと思いました。ご報告いたします。

（高崎悦子）



南博SDGs国連担当大使に要望書を提出（2015年）

常任理事 神 仁

菅前首相は、2030年までに、温室効果ガスを2013年度比で46%削減することを目指し、2050年までに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすると言いました。しかし、この目標を達成するためには、既存の価値観に基づく小手先の対策では、到底、実現不可能と言えるでしょう。

目標達成のためには、すべての人が納得できるような動

2

（公財）
全国青少年教化協議会

12月8日は成道会

おしゃさずまがおさとりになった日をお祝いしよう！

キャンペーン成道会
リーフレット2021

3

（公社）
全日本仏教婦人連盟

理事長 花岡真理子

仏教三団体（公財）全国青少年教化協議会・（公社）日本仏教保育協会と私達、（公社）全日本仏教婦人連盟で「子どもたちに豊かな地球をつなぐキャンペーン」という同じ目的を持ち三団体が協力し合いながら活動していくことにより色々な情報や考えを発信していく事が出来ます。

一団体では出来ない事も二団体の方々のお力をお借りする事により、大きく広がりを生かせる事が出来ます。講演会や講習会でいろいろな事に取り組み、なかでもSDGsの

REPORT! 01

認定こども園
梅ヶ原幼稚園

全日仏婦の会員の皆様が所属される寺院や教育機関などからのレポートを企画してまいります。初回は花岡真理子理事長の幼稚園をご紹介します。

豆まきの集い

栃木県小山市にある認定こども園梅ヶ原幼稚園では、毎年2月3日豆まきの集いを行います。園児たちが自分でお面や、豆入れを作ります。クラスごとに色々なお面ができ、節分の行事を楽しみにしています。

「福は内・鬼は外パラパラ豆の音、鬼はさっさと逃げていく」

今年も赤鬼さん・青鬼さんがやってきました。園児たちが自

分でお面をかぶり、鬼の登場に怖がりながらも、豆を赤鬼さん・青鬼さんにぶつけていました。福の神の登場で「おまめに見立てたポーロをひとり一袋ずついただきました。」とても楽しい豆まきの集いが出来ました。園長先生が「自分の心の中に住む・泣き虫鬼や、いじわる鬼・いやいや鬼・わがまま鬼を退治することが出来ましたね」と、お話ししておられました。



涅槃会

毎年年長組の子どもたちが下野市の慈眼寺において座禅の体験をします。今年はコロナ禍で、日程が2月28日と大分遅れてしまいましたが行うことが出来ました。慈眼寺（真言宗智山派）にて献花・読経後、お焼香・法話を聞き座禅の体験（約15分間）をしました。その後、涅槃会の掛け軸についての説明を聞き手を合わせて「なむしゃかむにぶつ」と唱えました。しっかりと座禅をくむことが出来ました。

一つ「環境問題」については子どもたちにも、楽しく理解してもらえようような研修会を行うなど活動をしております。

私達、全日仏婦は環境事業として「命・ひと粒の種」をキャッチフレーズに「花の種」と共に、水の大切さ・環境破壊が海の生き物にどのような悪影響を及ぼすか等を書いたリーフレットを配布しています。写経運動では写経の意義を広く進めていく事、里親運動では

（公財）全青協と共に支援をインドの里子達に教育資金や心の交流をしております。

次世代を担う子どもたちには何が出来るのだろうかを女性の立場から考え、二団体の方々と共に活動していけたらと思います。

合掌



「花の種」リーフレット

花の種発送作業
皆さまありがとうございました